

砂上を滑り降りる爽快感 鳥取砂丘でサンドボード!

(鳥取県・鳥取市)

観光できる砂丘としては、日本一の規模を誇り、国の天然記念物にも指定されている名所、鳥取砂丘。その斜面をボードで滑り降りるといふ、鳥取ならではのヨコノリ系遊び「サンドボード」にマドンナ2人とともに挑戦!



ご当地のマドンナが案内する最旬の外遊びガイド

日本全県 アウトドア巡り

鳥取砂丘を、颯爽と滑り降りる。そんな映像をTV・CFなどで見たことがある人も多いはず。それが今回チャレンジする「サンドボード」という遊びだ。砂丘をちよつと歩くと、あまり人のいないエリアへ到着。そこは海へ向かつてズバーンと駆け下りる傾斜地になっていて、覗き込んでみると斜度もなかなかのもの。

「ちよつと怖いんですけど」マドンナ役のひとり、千葉美さんはすでに良い感じのへっぴり腰。これは、良いコケが撮れそうな予感。千葉美さんのへっぴり腰を押すようにして、半ば強引に送り出す。

「きゃー!」という声とともに、斜面へと吸い込まれていく千葉美さん。カメラマンは下でシャッターチャンスを狙っている……んだけど、なんか予想外に上手いぞ。爽快地に滑る絵はもちろんなんだけど、やっぱり砂煙を上げながらの派手なクラッシュシーンも押さえない! というワケで先生にその旨を耳打ちすると、出てきたのが、サンドスライダーというウレタン製のソリ。

鳥取砂丘を、颯爽と滑り降りる。そんな映像をTV・CFなどで見たことがある人も多いはず。それが今回チャレンジする「サンドボード」という遊びだ。砂丘をちよつと歩くと、あまり人のいないエリアへ到着。そこは海へ向かつてズバーンと駆け下りる傾斜地になっていて、覗き込んでみると斜度もなかなかのもの。



日本離れた風景の中
フィールドまでお散歩



参加者一同で、まずは先生から滑り方のレクチャーを受ける。コツは目線を速くすることと、コケそうになってもギリギリまで我慢すること。基本姿勢は「ゴメンなすって」の構え。

裕美さんは、スノーボードが好物というアクティブ系女子。どつりで上手いわケだ! 一方、千葉美さんは、スラックとした長身のおしとやか系。普段はANAの地上職員なんだとか。

その22

鳥取県

今月のマドンナ

鳥取しゃんしゃん
鈴の音大使事務局
小橋裕美さん(左)
第18代鳥取しゃんしゃん
鈴の音大使
下田千菜美さん(右)





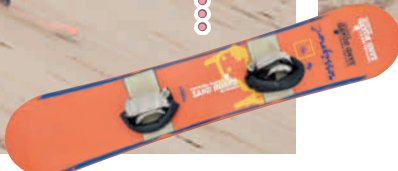
アし？派手なくラッシュは？
 なんだかふたりとも上手いぞ……



スピード感もかなりのもので、スリル満点。先生の教えをきっちり守って、基本姿勢を崩さなければ、意外と最初からうまく滑れちゃうのも、この遊びの魅力。なんだけど、やっぱりコケも見たいわけで。



使うのはビンディングをはずして、ブーツなしでも装着できるようにしたカスタムスノーボード。足首がフリーなのでケガも少ない。



誰でも安全に
 楽しめますよ！

鳥取砂丘
 サンドボードスクール
 前田靖志さん

鳥取砂丘唯一のサンドボードスクールを主宰する前田さんの趣味はサーフィン。サンドボードが始まったのは今から15年前。意外と歴史ある遊びなのだ。

④鳥取市下味野302-14
 ☎0857(30)1991



待ってました！
 サンドスライダーで
 見事な七転八倒！

サンドスライダーで見事なコケ！2人乗りだとスピードも増加。小さな子供でも安全に遊べるから、家族揃って楽しめる。他にパラグライダー体験もアリ。



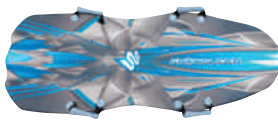
材料は砂と水だけ！
 迫力のサンドアート



毎年さまざまなテーマでサンドアートを展示している砂の美術館。現在は南米をテーマにした作品が並ぶ。来期はアメリカをテーマにする予定。簡単なサンドアート体験もできる(500円)。

砂の美術館
 ④鳥取市福部町湯山2083-17
 ☎0857(20)2231

タゲ付き
 松葉ガニを
 堪能できる老舗



元々は雪用のソリを転用したもので。重量約665gと超軽量なので、持ち運びもラクだし、ハンドル付きで安定感もある。



鳥取が誇るブランドガニである松葉ガニ。ゆでガニを手始めに、焼きや刺身やカニすきの超絶品フルコース。あまりの美味しさにこの表情。

味覚のお宿 山田屋
 ④鳥取市賀露町北1-5-36 ☎0857(28)1004

「これなら確実にいきますよ」
 先生がニヤッと笑う。
 その言葉にウソはなかった。滑り出したふたりは、かなりのスピードから急激にバランスを崩して見事なクラッシュ！腹を抱えて笑っていると、砂まみれで、恨めしそうにこちらを見ているふたりと目があう。
 ご、ごめん。怒った？
 「松葉ガニをおごってくれないと、許しません！」と声を合わせるふたり。
 え？それ条件エグくない？

日本最大級の砂丘でラクダに揺られれば
そこはまるでアラビア風



鳥取砂丘の名物が「駱駝屋」さんによるラクダ散歩&ラクダと一緒に写真撮影。ラクダに跨がって、見渡す限りの砂丘の中を行けば、もはや気分はアラビアのロレンスだ。斜面を下れば素敵なビーチが広がっているし、夕方には真っ赤な太陽が海に向かって沈む。夜に訪れれば、月明かりに照らされた、美しい砂丘の姿も見るができるという。時間や季節を変えて、何度でも訪れたい場所なのだ。



片手で簡単に開閉できる独自のシステムが秀逸。大容量なのでスポーツ時の使用にも向いている。
真空断熱ケータイマグ/JNL-752 0.75ℓ 7000円



ちょっと小ぶりな0.6ℓ。普段使いしやすいサイズ感だ。温冷どちらにも使える。
真空断熱ケータイマグ/JNL602 0.6ℓ 6500円



砂丘とラクダとケータイマグ。こんなに水分補給が似合うシチュエーションも珍しい。ラクダライド体験は、1人乗りで1300円、2人乗りで2500円。

